

## ◆ニパフ・オールスターズ集団パフォーマンス

93年から開始した「日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル(ニパフ)」。

夏にはアジアパフォーマンス連続展やサマーセミナーも開催。

黒田オサムを初めて海外に紹介し、フランス、香港、ポーランド、タイなどに同行ツアー。

今回は、集団同時多発公演。出演：霜田誠二、サエグサユキオ、谷川まり、岡田ユミ子、白川昌生、設楽玲子、村井元、榑原章代、撮影：川端希満子、交感行為：西島一洋(自宅)

## ◆針生一郎ミニ・レクチャー

1984年のヨーゼフ・ボイスの来日を契機に、1985年に創立された自由国際大学(Free International University Japan)は、参加者の創造力から出発し、

対話を通して、社会彫刻の実現を目指す。月1回のミーティングのほか、

講演会・ワークショップの開催、作品の共同制作、デモなど多彩な活動を行うが、

この催しでは、針生一郎が黒田オサムの古稀を祝し、彼と自分の生きてきた時代を語る。

## ◆黒田オサムビデオと笛奏者野田晴彦演奏

市民誌「街から」を隔月刊で発行、創刊9年目になる。2年前から黒田オサムが表紙画を担当、

現在に至る。世紀末の昨年暮れ、「街から」の創刊50号記念に出版した黒田オサム、

故マルセ太郎等異色アーティスト17人のインタビュー集、

本間健彦編著「人間屋の話」はアンダーグラウンド読書界で話題を呼んでいる。

## ◆粉川哲夫パフォーマンスまたはアクション

黒田オサムが古稀を迎えるという。ウソじゃないか?! 彼には歳がない。

永遠の青年ならぬ(永遠の老年)なのがこの人物だからだ。

もし「古稀」だとしても、昔から古稀だったのではないか?

その上、黒田オサムは神出鬼没する。どうも彼は1人ではなさそうだ。

こんな手合いにまともに立ち向かっては勝ち目がない。さて、当日何をやるか?

